

1. ① a ② a ③ c ④ b ⑤ c

2.

3. (a) 小学校の3年生の算数の授業で、二桁の掛け算を一瞬で解いたことから明らかになった。
赤ん坊のころから番号の付いたおもちゃで遊ぶのが好きだった。

(b) iii

(c) 週末だけ「才能教育」を受ける学校に通うことを薦められている。

日本では飛び級や在宅教育は認められておらず、特殊学級がある学校も筆者のうちから遠いから。

(d) 夫は娘が世界的な学者になってほしいと思っているが、筆者は元気で明るく育ってくればそれでいい
と思っているから。

(e) 子供の性格や適性を見た上で、親の意見を押し付けず、子供の意見を尊重して正しい道に導くこと。

(f) 仲間との触れ合いを通じて人間関係を学ぶことや、習った知識を実生活で活用する方法を学ぶことを
通じて、大人になるための準備をする経験をしておくべきである。

4. (a) 本人の素質と、その才能を伸ばすための環境を整えることが大切である。

(b) i 世界一のピアノ教師の特訓を受けさせること。

ii 長時間練習させて、ピアノ以外のものが目に入らないようにすること。

(c) i 年齢が上がると、感性が鈍ってしまうから。

ii 型にはめず、個人のニーズに対応できる環境。

(d) 最低限の知識や教養を持った若者。

学校で学んだ科目が、社会に出た時役に立たないことがある点。

義務教育で習った程度の知識では、社会問題を解決できない点。

(e) 様々な科目の基本を教える教育。

(f) 才能を持つ人々がその分野の水準を引き上げ、普通の人々がその恩恵をもらうという影響。

(g) 厳しい練習を後悔するのではなく、その練習のおかげで美しい音色が出せるようになったと感じている
と想像している。